

## 熊本地震を振り返る

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」では死者 228 人、負傷者 2,753 人、住家全壊 8,697 棟などの多くの被害が発生しました（2017 年 4 月 13 日現在、総務省消防庁による）。平成 29 年 4 月で熊本地震の発生から一年が経過したことから、熊本地震の現在までの状況を解説します。

熊本地震は、2016 年 4 月 14 日の M6.5 の地震（最大震度 7）が発生した日奈久断層帯や同月 16 日の M7.3 の地震（最大震度 7）が発生した布田川断層帯の周辺の熊本県熊本地方（領域 A）にとどまらず、熊本県と大分県の県境付近を中心とした熊本県阿蘇地方（領域 B）や別府－万年山断層帯付近を中心とした大分県中部（領域 C）に活動の広がりを見せ、非常に活発な地震活動となりました。

現在、領域 C の活動は減衰しており、一連の地震活動も全体として減衰していますが、領域 A と B では地震発生前と比較すると依然として活発な地震活動が続いています。九州地方においては、1889 年の熊本の地震など、M6.0 程度以上の地震の発生後、数年のうちに同規模程度の地震が発生した複数の事例があることから留意が必要です。

また、熊本地震発生直後に実施された大雨（熊本県は洪水も）警報・注意報、土砂災害警戒情報の発表基準の引き下げは、熊本県、大分県、福岡県では運用を継続しています。詳細は、気象庁 HP の下記 URL からご参照ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/kijun/index.html>

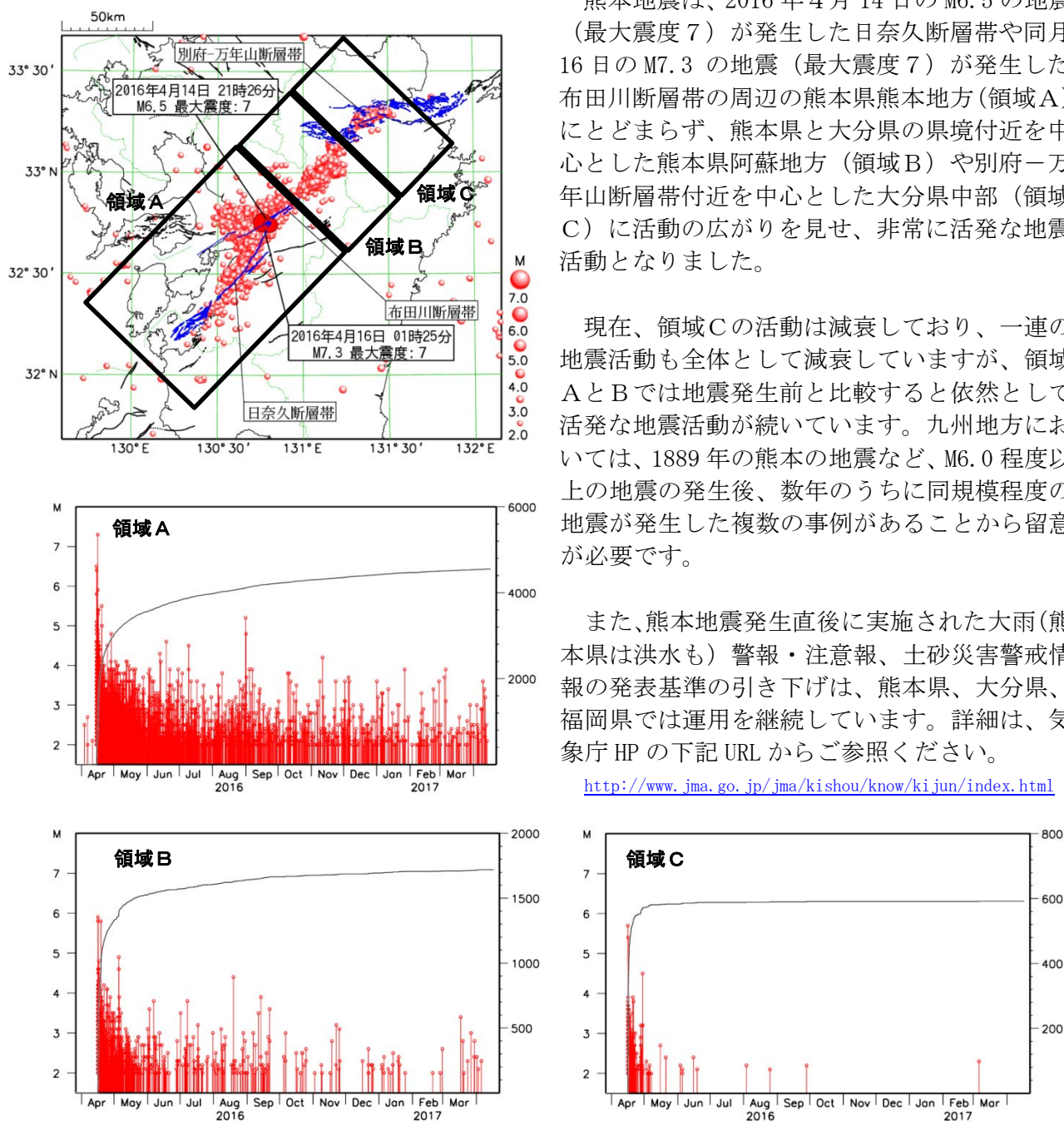


図 期間 2016/04/01～2017/04/16 マグニチュード 2.0 以上 深さ 20km 未満の震央分布図  
M-T 及び地震回数積算図は震央分布図の各領域ごとに表示  
図中の青線、黒線は地震調査研究推進本部による活断層